

第 59 回 未来医療セミナー

ティッシュエンジニアリングによる心筋再生

東京女子医科大学 先端生命医科学研究所
清水 達也

重症心不全に対する再生医療として細胞浮遊液を直接注入することにより不全心筋を再生させる治療法が臨床応用されているが、細胞の流出や壊死による損失が課題となっている。これに対し近年、ティッシュエンジニアリングの技術により細胞から組織を再構築したうえで不全心筋へ移植する治療法が追究されており、既に細胞シートを用いた治療法が大阪大学で世界に先駆けて臨床応用されている。さらに細胞から収縮弛緩する心筋組織そのものを再生し、心臓のポンプ機能を直接補助しうるような次世代型の心筋再生医療の研究開発も始まっている。

今回のセミナーでは細胞シートを用いた心筋再生医療に関するこれまでの研究開発について概説するとともに、血管網付与によるスケールアップなど“心臓を創る”ことを目標とした最先端の研究開発を紹介する。



主催：未来医療交流会

後援：文部科学省橋渡し研究支援推進プログラム
大阪大学「TR 実践のための戦略的高機能拠点整備」
大阪大学医学部附属病院未来医療センター
大阪大学臨床医工学融合研究教育センター

連絡先：未来医療交流会(大阪大学医学部附属病院未来医療センター内)
Tel: 06-6879-6557, 6551, Fax: 06-6879-6538
E-mail: koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp
<http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp/>

2010.12.22
18:00~19:00

大阪大学医学部附属病院 4F
カンファレンス室

